

わた SHIGA 輝く障スポ（第 24 回全国障害者スポーツ大会）リハーサル大会
兼 第 24 回全国障害者スポーツ大会近畿地区予選大会
（身体（聴覚）障害の部、知的障害の部、精神障害の部）
バレーボール競技実施要領

1 競技規則

令和 7 年度(2025年度)に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム構成

全てのチームにおいて監督およびコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は選手を兼ねる監督およびコーチを含めて12名以内とする。

(1) 身体（聴覚）障害の部

ア チームの構成は、監督 1 名、コーチ 1 名、マネージャー 1 名、手話通訳者 1 名および選手 12 名以内とする。

イ 男女別にチームを編成する。

(2) 知的障害の部

ア チームの構成は、監督 1 名、コーチ 1 名、マネージャー 1 名および選手 12 名以内とする。

イ 男女別にチームを編成する。

(3) 精神障害の部

ア チームの構成は、監督 1 名、コーチ 1 名、マネージャー 1 名および選手 12 名以内とする。

イ 男女混合でチームを構成する。（試合中は少なくとも 1 名以上の女性プレイヤーが出演していなければならない。）

3 競技方法

(1) 試合は、申込みチームの数により、滋賀県を除くトーナメント戦方式またはリーグ戦方式とする。また、トーナメント戦およびリーグ戦以外に、交流戦を実施する。

(2) 全試合 3 セットマッチとし、2 セットを先取したチームを勝ちとする。

(3) 1 セット 25 点のラリーポイント制とする。

なお、得点が「24対24」の同点となった場合、それ以降は、2 点リードしたチームがそのセットの勝者とする。

(4) 第 3 セットはいずれかのチームが 13 点先取したときにコートの変更を行う。

(5) 試合は、ワンボールシステムで行う。

(6) 設定時刻より早く試合を開始することはない。設定時刻を超える場合は直前の試合終了の 10 分後にプロトコールを開始する。ただし、連続試合となる場合は試合終了 20 分後にプロトコールを開始する。

4 服装等

(1) 背番号は、1 番から 12 番までとする。やむを得ない場合は、1 番から 99 番までとする。なお、チーム名、キャプテンマークおよび背番号等のサイズは、規定のものとする。また、ユニフォームに県・指定都市名を表示すること。

(2) リベロプレイヤーを採用する場合は、他の競技者と明確に区別できるユニフォームを着用すること。

5 ネットの高さと試合球

- (1) ネットの高さは、次のとおりとする。
 - ア 身体（聴覚）障害の試合 男子2.43m、女子2.24m
 - イ 知的障害の試合 男子2.30m、女子2.15m
 - ウ 精神障害の試合 2.24m
- (2) 身体（聴覚）障害および知的障害の試合球は、次の公益財団法人日本バレーボール協会検定球5号球（人工皮革・カラーボール）とする。
 - ア 男子 モルテン製カラーボール（V5M5000）
 - イ 女子 ミカサ製カラーボール（V300W）
- (3) 精神障害の試合球は、日本ソフトバレーボール連盟公認球ソフトバレーボール球・糸巻きタイプ（モルテン製円周78±1cm、重量210±10g）（S3Y1500-WX）とする。

6 組合せ

組合せは、令和7年2月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いのもとに代理抽選を行い、決定する。

7 表彰式

表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

8 出場権

この大会の優勝チームは、第24回全国障害者スポーツ大会への出場権を得る。

9 その他

- (1) 監督会議は、競技開始前に行い、その場において申し合わせ事項を設けることができる。なお、監督会議の時間および場所については別途通知する。
- (2) ベンチには、選手、監督、コーチ、マネージャーおよび手話通訳者以外は入ることができない。なお、手話通訳者は、参加申込時に別に登録した者とする。
- (3) 監督、コーチ、マネージャー、手話通訳者は統一された服装を着用すること。
- (4) チームスタッフ3名（身体（聴覚）障害の部のみ手話通訳者を含めた4名）とは別にトレーナーを帯同しているチームは、チームベンチエリア後方の決められた位置にトレーナー1名を待機させることができる。なお、トレーナーは参加申込時に登録した者に限る。このトレーナーは、実際に施術ができる者とし、公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。
- (5) 競技場内へは、ベンチに入る者のほか、大会役員等の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (6) 練習球は、各チームで用意する。
- (7) 練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。
- (8) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。